

安東正之日記「楨の葉」抄(二)

加藤泰信

八月朔日巳 天氣雨布る

一、式日^{ニ付} 御隱宅様江參上、雨天^{ニ付}近所も廻礼不致候

(者脱落)一、星時頃、山浦出入之者相見候、尤幸之丞忠左衛門不快、久兵衛も不快^{ニ付}隠居久平參り候、其外、舟金右衛門、元

重長藏、杖ヶ迫勇平才參り候^{ニ付}、昼飯之上^ニ而一盃為出申

候

一、夕飯、惣五郎新藏召呼、為喰申候

一、夕方、後藤氏^ル太政官日誌十七^六廿一^七迄為持被吳候、早

速夜分致拝見候

八月二日午 天氣雨布る

一、昨夜之日誌、後藤氏江返候處、又^ミ廿二^六廿四迄貸し被

吳候、追々野口隱居被見、右之日誌後藤氏江借用致之趣^ニ

而持被歸候、同時、幸次子^ル被見候

一、今日佛參も可致之處、雨天^{ニ付}下男為參、米遣置候

八月三日未 天氣がつゝ晴、時^{ニハ}小雨布る

一、飯後、後藤氏被見候、日誌廿五之卷持參為見吳候、昼後披見仕舞^ト^{ニ付}同方江持參、返済いたし候

一、夕刻井尻氏被見、歌物語致候、暮前被帰候、

八月四日申 天氣曇前^ル雨布る

一、上坂水庄村屋瀧平^ル先達^而短冊認吳候様頼有之、且又

上之御詠歌願吳候様申出有之、佐一郎留守中^{ニ付}其便致置、此節同人^ル願候處、一葉御染筆被下置候、今朝相下ル、秋浦之御歌也

○今日社日也

一、夕刻、後藤氏^ル日誌廿八之卷并江城日誌四^六十迄廻申吳度、被見候、野口隱居被見居、一同^ニ披見之事、日誌廿六廿七廿八三卷、同氏方江相廻ス

八月五日酉 天氣雨布る、今日^ル彼岸之由也

一、夕刻野口隱居被見、日誌廿九卷目持參、一同致披見候、

江城日誌者四^六十迄披見仕舞、後藤氏方江差返ス

一、下男常藏、昨夜少々風邪趣致平臥候

八月六日戌 天氣晴○今日者家内佛參為致候

一、下男不快二付、菜烟虫とり、早天六裏門千葉召連參り候、虫多、取盡兼候二付弁当とりよせ、手習子供共迎二参り、一同二晝迄二而取仕舞、罷帰り候

一、今日 上御歌會之處、此度者題六ヶ數、面白き歌出来兼

候二付家内代詠致遣、差申候二晝後、後藤隱居被見候

八月七日亥 天氣吉

一、下男不快二付家内参り、菜烟(青生草の意)あを布引申候、尤下男義も一晝後六抑而参り候

一、昼前、忠實久武子相見候○俗用三而町半左衛門参り吳候 八月八日子 天氣吉、朝之内殊の外冷氣

一、野地村幸之丞役成後、未悦も不申入、且又、同方六忠左

衛門与差繼有之(中略)、大池釣二名付、子供召連朝飯後六

罷候、尤祝儀として金壺朱差遣候、夕刻迄釣致候處、少

二而不猶也、夕刻六幸之丞方江罷行候處、一盃出申候、追

々咄致候處、何分片付不申(中略)、彼是遙く相成り、鶏鳴

前二社致帰宅候、手習子供いつ連も為宿申候

一、下男家内晝前六参り候由也

八月九日丑 天氣吉

一、今朝、野地六久兵衛、高田塩二参り吳候段申出立寄り候二付、今朝之山村行手希為持遣ス、夕刻罷帰り塩武俵丈持帰り、跡二三玉丈残有之候由也

一、昼前、子供召連致佛參候

一、今日夕刻、家内并三崎家内

奥方様御口通被仰付候段、一昨日被仰出有之、右二付昨日高田便二上菓子百疋之折申遣置候處、使之者罷帰り不申、

間二合兼候二付、老女并御附井尻氏江相頼引替、献上取計方前以頼置、七ツ時前御沙汰有之、同道二而罷出候、夜四ツ時相下り候、御目通無滞相済、御酒才被下、御態六御沙汰才御下致候趣、其上頂戴物才被仰付候、右獻上之菓子夜半頃二社、罷帰り候

一、晝後忠實相見、弥明日、同方二而月見之會相催候間、昼

時六参り吳候様被申候、野口氏都甲氏八者、小子六昨朝案内致置候、井尻久武今朝も相見候

一、今日、鳥越二而月見會相催候、案内兼而有之二付野口氏

都甲氏江今朝誘二参り置候

一、昼後^ひ野口氏井尻氏松尾氏同道^ニ而鳥越江寵越候、都甲

氏義者、今日作廻り出脚^{二付}、夕刻寵帰り二第被參候筈^ニ而

先^ニ參り候、家内義者、昨日之御礼^ニ御奥江參上、夫^ガ参り

候者須也

一、今日之兼題山家月、当坐松間月、鹿、深夜掛衣也、都甲

氏義者夜^ニ入相見候、殊之外賑合、面白き會也、夕飯之上

一盃出申候、追^ミ興^ニ乗、夜明て寵帰り候、殘念者雨天^ニ

而月なき計也、家内事ハタ七時頃參り候

一、今日之會ハ十五日支有之^ニ付、其十五夜之積り^ニ而之

會也、折節雨布りなれハよミて忠實子江残置候うた

か称てより心^ニミつる月かけハ雨のうち^ニも佐やけかりけ

り、とよミ申候、其外之歌ハ相略申候

八月十一日卯 天氣雨布る

一、今朝六^シ時過、いつ連も同道^ニ而鳥越^ひ寵帰り候、暫時

致休息候

一、夕刻^ひ下男、一寸宿江寵帰り度申出、差返候、明朝寵帰

り候筈也

八月十二日辰 天氣雨布る○井尻氏^ガ千あシ致到来候

一、下男常藏、風邪^ニ而何分寵帰り不申趣、家内参り申出候

寵帰り不申候

八月十三日巳 天氣晴る

一、今日も下男不快^ニ而寵帰不申

一、昼過、忠實子相見候、昼飯差出候

一、楠原氏^ガ初茸少々致到来候

一、夕刻、橋津^ひ手舟到来、右者来ル十六日、岩崎祭礼奉燈

見物^ニ参り候様申来る、此度者、岩崎山邦両奉燈共、此方

家内分共、よろしく候趣、申来る

八月十五日未 天氣雨天^ニなる

一、今日惣願角力、雨天^ニ付見合有之趣之處、在方江者仕込

本致候由^ニ而、夕刻^ひ雨天ながら相始候趣^ニ付、楠原隱居同

道^ニ而子供召連見物寵越候、一向人出無之

一、今日月見^ニ付 御奥并御隱宅様江なり交り之枝柿^{アサツキ}並さつま芋少々宛、家内致献上候、御隱宅様^ガ今日、家内江參上致

候様被遣、夕刻^ひ寵出候、御奥^ガ者、明日御寄會被為在候間、夕刻^ひ寵出候様被仰出候由也

一、下男事、少々者快、今日、天氣宜敷候へ者、寵帰り可申之處、雨天^ニ付寵帰り不申旨、家内参り申候、留置申候

八月十六日申 天氣雨天、夕刻かつ^ク晴申候○今日も下男

一、今朝都甲氏被見、今日 上ノ御歌會十五題、外三題之
歌相談有之、久武忠實子も相見候、御出詠忠實子江相頼候、
夕刻⁶家内も御歌會席江被召罷出候、三崎家内も同道致候

一、下男家内、今朝飯後罷帰り候

一、夕刻、長流寺方丈、五徳寺方丈同道²而被見候、丁度家

内 御奥江參上掛旁何之構ひも出来不申候、今日昼時頃、
野口隱居久武子被見居り、昨日到来之酒有之、一盃差出候
後²而何も無之、甚不興也

一、今日七ツ時、家内事、御奥江參上、夜四ツ半時過、無滞
相済候由²而罷下り候

八月十七日酉 天氣晴○昼後下男常藏、少々快趣³而罷帰り
候

一、日足村嘉左衛門⁶今朝酒預り致到来候、昼前、龜井隱居
も相見候○夕刻野口隱居被見、入湯行相談有之

八月十八日戌 天氣吉

一、近日入湯罷越候積り²付、豊前奉燈如何之模様哉、致承

知度、今日山村達、潤吉郎并仙八両人、右之卷両所共借用
二遣申候、夕七ツ時前罷帰り、両卷共持帰り候、致披見候
處、山邦栗山奉燈ハ小子卷頭卷軸共^(ママ)拔申候、岩崎の方ハ

家内卷軸²拔申候、其外当社中、段抜向²相成り、此節ハ
大当たり候

一、山田氏三重氏後藤氏才江、一寸見舞申候

一、上⁶堤中納言公家集紀貫之刻直之書、文字相分り兼候歌
序書才有之、読分記し差出候様御沙汰有之、家内共打寄拝
見仕候、夫々²讀分記し掛り候

八月十九日亥 天氣吉

一、上⁶御下ヶ²相成候堤家集相分り候丈相調、差出候

一、夕刻、楠原氏小鰻四五本持參有之、寄合申候、尤酒壺
升調候處、楠原氏強預り差出候間、預り置候○井尻久武子
相見候、豊前本燈卷廣小路江相廻し置候、尤右之卷、早速
相返し可申候處、殊²寄り明後日当り⁶暫く入湯罷越候つ
もり²付、返方之義者忠實子²致相談與候様、頼置候

八月廿一日子 天氣朝之内曇り、追々晴

一、早朝、忠實子相見候、卷返し方申談置候

八月廿一日丑 天氣吉

一、彼是致し飯後²相成り、兼用意致居、別府一ノ出之方
江出立、頭成²而昼支度致、入用拾四匁七分、漸昼時前参
着致也、殊之外臥草申候、主人其外別条無之、土産として、

着料金百疋、外ニ鶏一羽持參致候、召使下女江高田札五匁、

野一郎江森札三匁遣申候

八月廿二日寅 天氣吉、夕刻夕立、雷鳴有之

一、当家ニ而致死去候家内兄、北仙_与申仁之当霜月七回忌之
由ニ而、右回向料として金百疋相備度候由ニ而札拾五匁出

候跡丈相加ヘ、此度相備置吳候様頼ニ付則、百疋丈主人江
差出置候

一、昼飯後、中間湯江入湯致候

一、昼後七ツ時前、夕立雨布る、雷も少々鳴

八月廿三日卯 天氣吉

一、朝飯後、朝見金出の方江参り申候、いつ連も別条無之、

土産として着料五拾疋、子供足袋老足、扇面一本差出申候

一、昼飯相仕舞、七ツ時前_{より}いつ連か江入湯可致、支度致居

り候處江宿許より下男五郎七迎として参り候由ニ而、手番

差出候間、早速致披見候處、一昨廿一日切番到来、昨日出

仕致候處、於

御前御用改、且御先手武頭被仰付候段申來り候、家内_らも

同様申参り候ニ付、望奥殿同道_(力)ニ而一ノ出ニ寵帰り申候、夕

刻_ガ祝詞などの斬致候、夜ニ入一盃出、夫より歌など詠付、

御母堂様御出有之、初茸并御手製之御菓子頂戴被仰付候、

深更ニ及、正保引取候

八月廿四日辰 天氣吉

一、朝飯後_{より}出立、頭成ニ而昼支度致候、例之志のうとん屋
ニ而支度致候、入用拾匁五分也、暮時過、無滞帰宅、宿元

いつ連も別条無之

一、当春、新兵衛子落し置候傘、当方ニ而遣候間、右之代物
として金武朱、今朝見送り途中ニ而相渡置候

一、土産ニ生姜沢山ニもらひ帰申候

一、佐一郎役成り為祝儀、丸打下紐一かけ、一ノ出_{より}致到来

候

八月廿五日巳 天氣吉

一、佐一郎立身いたし_ト、為御礼、今日御役宅江致廻初候

八月廿六日午 天氣雨布る

一、野口隱居被見候

八月廿七日未 天氣吉

一、下男家内、去ル廿五日_{より}参り居候、今朝寵帰り候

一、今日も佐一郎、新地見分寵越候、暮時過寵帰り候

一、昼後

早速御帰り被遊候、追刻御礼ニ参上、柿井松葺少々御差上

仕候

八月廿八日申 天氣吉

一、今日者、景平₆猪狩願出候趣ニ而狩被仰付、出獵候、一

ツも出不申候

一、下男家内今日参り、柳屋奥、くろ切参り候

八月廿九日酉 天氣吉、夜分少々雨布る

一、下男家内、今日も滞留也

一、今日柳屋奥櫨烟打相始候、今日者、人手追々間違ニ相成

り、舟₆重吉八治參り候、外ニ三重氏下男雇、下男共四

人、昼弁當下男家内為持遣候、夕刻迄為打申候、昼後、一

寸見分ニ参り申候、人手少く仕舞兼候趣也

一、今日、桐田₆見事柿七ツ致到来候

一、夕刻、豊前山邦宗義₆手帯到来、先日之岩崎奉燈景物夫

ミ来る、處々小子抜四番之景物参り不申候、間違ニ而相

見候、栗山本燈之景物ハ丸宇田世話之由、遐之方₆送り参

り候趣申来る

八月廿日戌 天氣かづく晴

一、今日、豊前幸便有之、栗山岩崎両巻差返申候、尤看屋三

右衛門江相頼、岩崎酒店込差出申候

一、下男家内、昨夜より少々不快ニ而打臥籠在候

一、井尻久武相見、歌物語致申候

一、下男家内、昨夜より少々不快ニ而打臥籠在候

九月朔日亥 天氣吉

一、佐一郎義、今日₆調練局江十日之間、入込候様被仰付、

入込申候

一、内迫櫨見分ニ手習子供召連、一寸参り申候

九月二日子 天氣吉

一、安住院忌日ニ付致墓参候

一、今朝都甲氏被見候

一、い東新十郎相見、山浦大庄屋₆被頼候由ニ而扇面地帯持

参、歌認吳候様申聞候、且又自分地帯五枚、是も歌認候様
申聞候、預り置候

九月三日丑 天氣吉

一、今日山ノ口山、御葺取有之候由ニ而明き山葺とり家内并

下男参り候、下男ハ壹斤余りとり候由、家内壹本とり、下

女二三本とり候由、其外手習子供ハとり不申候由也、外ニ
進物用三斤拾九匁五分ニ而、調寵帰り候

九月四日寅 天気吉 尤冷氣

一、星後、景平江猪居候由ニ而狩被仰付、小子も罷越候へ共、
出不申、不猶也

九月五日卯 天氣吉

一、今日、星後の五郎を田染江遣申候、右者、佐一郎昇進
為知申遣候、松茸少々宛、本家并ニ店方江も遣申候

九月六日辰 天氣吉

一、杵築宮崎方、幸順院一周忌、来る八日相当ニ付、香實并
斎米松茸少々為持、下男差遣申候、序ニ宗匠方江も手番并

松茸少々遣申候、序ニ當帰賣參り候趣申付遣ス

一、佐一郎杵築増田江手番并松茸壹斤遣申候

一、町塙屋兩家より祝儀之由ニ而着到来

一、淨東院忌日ニ候處、少々差支有之、手習子代參ニ被參候

一、星時、田染の惣五郎罷帰り返書来る、別条無之

一、夜五ツ時過、杵築より下男罷帰候、丁度主人留守之由ニ而
返書不来、正油式升樽壹ツ来る

一、宗匠より返書来る、宗匠上京可致筈之處、何分上邊不相叶

趣ニ而、高見昨夜乗船、上京致候由申来る、神葬祭儀畧次

第壹冊來る

九月七日巳 天氣曇天、雨布る

一、昨日、昨年之出来之当帰、虫入旁持余り候ニ付、何何と
し而も買拂候様申付為持遣候處、拾八斤も有之候をキ札廿
六匁とやらニ拂候由ニ而、買物才致帰り候

一、昨日、後藤氏京都日誌出三十九八迄、備用其外御沙汰写

才致披見候

一、上御歌會之御歌、夕刻忠實持參、拝見致候、後藤隱居來

る

九月九日未 天氣吉

一、式日ニ付 御隱宅様江御礼參上、夫より御役宅并ニ近所江廻

礼致候

一、今日 上ニ而御歌合被遊候由ニ而、家内江も參上候様御沙

汰有之、夕方より罷上り候、夜四ツ時前相済、罷帰り候、家
内留守中婦人方追々相見候

九月十日申 天氣吉

一、今日より町桶屋、貰取ニ而櫛實為取申候、外ニも老人參り

候由、飯後より潤五郎差遣候

一、下男家内、今早朝罷帰り候

一、^(ママ)時⁶景平猪入註進有之、狩被仰付、致出獵候、三十
途之女猪^カ走定、後藤隱居矢先^ニ而取れ申候、夜分荒會、後
藤氏方江集會致候

一、今日家内、昨日之御礼^ニ 御奥江參上

一、今日櫛取、兩人^ニ而六七十斤計社とれ申候

九月十一日酉 天氣曇、夕方⁶小雨布りかゝり候

一、今日も櫛取、兩人参り居候、潤五郎も差遣候、昼後、櫛

取見分^ニ寵越候處、八ツ時過、櫛屋奥取仕舞、帰り居り途

中^ニ而行合、夫⁶松ヶ尾取かゝらせ候、当年者櫛屋奥百余

り共社ふくめ、惣躰別而少く候、今日も七八十斤計取候

一、明日、佐一郎役成^ニ付、御役人中江一盃差出候趣^ニ付、少

々看買^ニ昼後⁶ 下男差遣候、何も土産無之^ニ付昨日之猪

肉少々遣申候、明日之客用^ニ猪肉武斤、後藤氏方^ニ而調置

候

九月十二日戌 天氣昨夜⁶雨布る

一、今日之天氣^ニ而看之模様甚無覚束、致心配候、朝飯後⁶

御足輕幸右衛門参り呉候、杉原氏⁶看致到来候、三重氏⁶

祝儀、都甲氏⁶同断、万屋庄吉⁶も同断

一、昼時前、日出表⁶下男寵帰り手帯も来る、看も有之持帰

り候、尤金壱分式朱丈持帰り候、極安き趣也

一、夕方、料理方出来、致案内、いつ連も被見候、尤山田氏
杉原氏三重氏後藤氏山田氏野口氏都甲氏也、外^ニ相伴とし
て亀井定吉町方塩屋三人召呼候處、又市義者無據差支有之、
相見不申、半左衛門庄吉兩人相見候、夜四ツ時過、^(ママ)無據相

濟申候、夫⁶料理方下勧之者江一盃為呑、深更相濟候

一、五郎七、祝義之心を以、酒壺升持参り候

九月十三日亥 天氣吉

一、昼前、吉武隱居見候

一、昼時頃、向野平山江猪入註進有之、出獵被仰付寵越候、

平山狩候内、奥畠山⁶上山之追聲^ニ而起出、矢^ニ合不申候、

不猶也

一、今日、櫛取兩人、松ヶ尾取残り⁶内迫取掛り候様申付、

差遣候、今日ハ四俵余り取候趣也

九月十五日丑 天氣吉、少々風立

一、内迫櫛とり^ニ下男并潤吉郎召連寵越候、昼後⁶佐一郎も

参り呉候

一、今日 奥方様、天満宮^并両寺江初而御参詣被遊候

九月十六日寅 天氣吉

一、今日も内迫櫨實取、昨日通りニ而罷越也、昏後六惣五郎

参り候、今日ニ而大脉仕舞ニ相成り可申候、残り少々有之、

今日者少々用事有之、七ツ時六子供召連、先ニ帰リ申候

一、御隱宅様六先日小鳥御召出有之、今日御返ニ相成り、袖

五ツ唐いも少々被下、小鳥御返ニ相成候

一、下男常蔵、暮前櫨取六罷帰り少々不快之由ニ而打臥候

一、暮時 御奥六今日之歌差出候様、御使来る、則家内のと

も差出申候

九月十七日卯 天氣曇、折々小雨布る

一、昼前、久武子相見候、同刻景平山ニ猪入註進有之、出獵

被仰付罷越候、景年石塔山ニ而子引出、親猪者中嶋忠藏打

留、子壱疋犬とり、都合武疋どれ申、凡親子ニ而十疋程出

申候

九月廿日午 天氣曇り、折々少々宛しくれ候

一、当夏、取置候燒酒四升六合代、札六拾六匁五分申參候間、

則金武分と札拾匁五分相渡候、使婆ミ也

一、下男常蔵、少々足ニ腫物出来旁、宿元江用向有之趣ニ而、

夕刻六宿帰致候

九月廿二日申 天氣吉

一、今日

今上天皇御誕生日ニ而天長節御執行有之、群臣江醸宴を給、

天下一体ニ休日被仰出有之、いつ連も天恩を仰候

一、今早朝、都甲氏被見、天満宮奉燈之歌被為見候○飯後、

野口氏も被見候、奉燈歌一首被為見候

一、今日も下男常蔵罷帰り不申ニ付、五郎七相雇ひ、早植大

根為引申候、今珍ら敷ニ付例年之大根初穂として、近所江

配分進申候

一、例年之通、甘酒四升、飯壹升丈為造候

九月廿三日酉 天氣吉

一、天満宮奉燈歌仙持、井尻氏被見候、幸次子も相見候

一、今日も五郎七相雇、内迫大豆小豆引残り相引仕舞候

一、夕刻、下男常蔵、大分快趣ニ而帰り候

一、家内事、今晚 御奥ニ而廿三夜御役被遊、御歌も被遊候

由ニ而被為召、暮時過六罷上り候

九月廿四日戌 天氣曇天、折々小雨布る

一、早朝六井尻氏被見、歌仙持并歌認方相被致候

一、今日、岡村覚平三女す惠、給司ニ相雇ひ、夕刻六参り候

一、夕刻、裏門千葉、宇佐^ル今日罷^ル帰り候趣^ニ而菓子一箱持参り候

九月廿五日亥 天氣吉

一、例年之御祭礼、無滯相済、今日者出入之者も夫^ミ参り不申、大造司^ル新三郎甚平祝義持参候、舟村増兵衛参り候、是ハ今日、芝居棧敷掛け下男^并五郎七江申付候處、不案内^{二付}増兵衛加勢致^ス候、夕刻為否申候

一、夜分、家内不残芝居行、増兵衛家内子供連、岡村覚平方^ル兄弟共参り申候、三嶋桐田^ル不残参り候

一、暮時前、野地^ル幸之丞^并忠左衛門、三右衛門世^ル久兵衛、順平世^ル祝義持参致候^{二付}有合^ニ而一盃為出申候

一、夕刻、綾部忠實相見候、一盃出申候

九月廿六日子 天氣吉

一、今朝、薰石村岩右衛門子供召連参り候、一盃為出申候

一、今朝、杵築岡源之助立寄り、今日罷^ル帰られ候よし

一、鳥越隠居、祭礼^{二付}相見候、昼芝居見物相透^(ママ)、野口隠居^{二付}也

一、夜分、家内共いつ連も見物参り候、家内事ハ昼も被透参^(ママ)り、夜分ハ引続事^ル被透^{二付}、居続^ニ罷在^ル、夜分も見物致候

九月廿八日寅 天氣雲天、折々小雨布る○今晚も家内共不残、芝居見物^ニ参り候

一、今日、西屋敷德本屋徳四郎与申者、昨年^ル櫨買^ニ参り、以来年^ニ賣^ス候様申出有之、差遣候筈^ニ致置候^{ニ付}とり^ニ

参り候、尤松尾村寿平取次也、為掛候處、当年ハ至^ニ而少也^(こそ)○四百九十八斤四合四勺^社有之、直段^モも未定リ不申趣^ニ而、内金四両ト札百五拾枚支預り置申候

九月廿九日卯 天氣風立

一、今朝六ッ半時^ル向野邊猪狩被仰付、罷越候、中須賀山^ニ而小猪三疋出、式疋犬とり申候、老疋ハ矢^ニも合不申候、暮時罷^ル帰り候

一、内田^ル幸太郎、今日^ル書物并手習為致^ス候様、先日^ル頼有^(熊太郎弟)之、今日留守中^ニ連き参候由、明日^ル参り候筈^ニ由也

十月朔日辰 天氣風立

一、式日^{ニ付}御隠宅様江御礼参上、夫^ル御用番三重氏方江事^ニ寄り明日^ル宇佐方江参り可申候段、申断置候、杉原氏過

日^ル不快之由^{ニ付}見舞申候

十月二日巳 天氣吉

一、九ツ時前、昼飯相仕舞、野口氏同道ニ而潤吉郎召連出立、
七ツ時前橋津江參着、野口氏義ハ和氣

一、友之丞方江先ニ参り、志者らく致被見候、一盃出申、和

氣ヒガシ小子江も参り候様申來り候得共參不申候、野口氏ハ暮
時過タリ被參候、夫ハ例之雅談ニ及、深更致休息候、其外別

条無之

十月三日午 天氣雲天、昼後タリ雨布る

一、朝飯後、野口氏和氣ヒガシ被參候タリ付、同道ニ而宇佐表江参り
候、野口氏ハ大神江参詣、小子ハ藤園江寵越タリ付馬場ニ而
立わかれ候、千英子ハ講釈江被參候由ニ而留守中故、早速
支度致、講釈場舞臺江参り候處、未初タマり不申ニ付學館方江
参り申候、宗匠江面會、追々舞臺江参り講釈有之、夕刻、
千英子与同道ニ而罷帰り昼支度致候、夫ハ又ニ同道ニ而學館

一、當夏之時分、藤園ニ而詞の玉緒ゆつりもらひ、其盡ニ而
打過、昨日札五拾六匁丈相渡、済置申候

江参り候、夜入、藤園江寵歸り候

十月四日未 天氣曇、昼過タリ雨布る

一、朝飯後、千英氏同道ニ而學館江参り、夫ハ宗匠も同道ニ而
兩大宮司江参り候、到津家ニ而菊園致見物候、宮成家ニ者、
昨日長崎タリ被帰候北越之嘶承り候處、此邊噂有之候通り、

一、今日出立ニ付、宇佐方江礼書并律の露為知ら申候、藤園

一、昼頃タリ舞臺ニ而講釈有之、夕刻ハ宗匠同道ニ而橋津方迄罷
帰り可申つもりニ而支度才致候得共、夕景殊ニ雨天故、矢
張、藤園江宗匠一同滯留致候

一、朝飯後、宗匠同道ニ而宇佐藤園發足、橋津春の舍江參着
致候

一、先日タリ当初ニ而、宗匠社中のミの歌集評題、葎の露与号、
當春の舍主人編緝ママ、宗匠ハ進メ有之、思立候處江少々意味
も有之、小子江も編緝致候様宗匠ハ嘶有之辭退致候得共、
達而さとしも有之、任其意當方ニ而相談ニ及致治定、早速
切出ニ取掛り申、切出世話方立石ニ而忠實、當方ニ而公治則
實、杵築ニ而泰幸の名前相記置申候

十月六日酉 天氣吉

一、無事春の舍ニ滞留
一、夕刻、日足村佐藤雄七郎則休相見、宗匠江致入門候、夜
分松崎廣藏相見候

一、今日出立ニ付、宇佐方江礼書并律の露為知ら申候、藤園

良人江相送り申候

一、昼飯相仕舞、宗匠同道^ニ而橋津出立、暮前帰宅致候

一、嫁事、昨日里方祭り^ニ而罷越候由、下男家内昨日^ム参り

居候由也

十月十日丑 天氣曇天、深更時雨る。

一、忠實子江宗匠被參候事、為相知度候處、昨日ハ猪狩^ニ被
參候由^ニ而見當り不申趣^ニ付、今早朝下男差遣候

一、早朝井尻久武子相見候、詠草書集候、忠實追々相見候、

四ツ時過橋津^ル高材子帰り申候、追々昼^ニ相成り候^ニ付一
盃差出候、昼支度相仕舞、八ツ時頃宗匠并高材子被引取候、

夫^ハ暮時迄、初冬落葉寄雪恋三題うたよミ申候、いつ連も
出来申候

十月十一日

一、昼後、三重氏野口氏都甲氏江一寸見舞申候○昼後^ル下男

常藏、龍ヶ尾江わらもらひ^ニ参申候、尤すくりわら^ニ致候

由^ニ而、今日罷帰り不申候

一、夜分、後藤氏被見候、何か佐一郎頼合引込居候^ニ付、被

談候趣也

十月十二日卯 天氣吉、俄^ニ時雨日和となる

一、昨日、裏門まん参り、札三拾五匁丈、志者らく取替吳候
様申出候^ニ付、無據趣之由^ニ付取替遣置候

一、今日、

上御上京、当月末御乗船被遊候段被仰出候由、佐一郎義者

此度、御供御免被仰出候由

一、下男常蔵、今朝わら持帰り候○家内事野口方江終日参り

居り候

十月十四日巳 天氣吉

一、今日、影平山江猪入註進有之、狩被仰付罷越候處、抜有

之、松尾山狩候得共出不申、不猶^ニ而罷帰り候

一、留守中^ニ日出佐一郎里之舍弟^{小三郎殿}、稽古^ニ被參候由^ニ而相見
申候

十月十五日午 天氣吉

一、今朝、小三郎殿中津之方江被參候

○先達而明治与改元被仰出候

一、野口氏隠居被見候、楠本寛兵衛も相見候、楠原隠居も被

見候

一、日出表^ル宮崎隠居被見候由^ニ而、看到來致候

十月十六日未 天氣吉、風立殊之外大霜也、俄^ニ時雨もよ布

となり、折々雨布る

一、鳥越山江猪入註進有之、出獵被仰付、寵越候へ共雨布り、

矢張綾部氏^ニ而見合居、昼飯才出、夕刻^ル犬引候得共、追當不申、暮て空敷寵帰り候

一、夕刻、御奥^ル明日八ツ時、お民事家内江召連寵出候様被仰出候處、丁度里方江寵越居候^{ニ付}、其段家内^ル申上置候趣^{ニ付}、早速迎差遣可申之處、夜中故、明早天迎^ニ寵越候

様申付置候、尤手番相認相渡置候

十月十七日申 天氣吉

一、下男事、鶏鳴^ル田染之方江迎^ニ寵越候

一、昼時お民寵帰り候^{ニ付}、其段御奥江申上候

一、夕七ツ時過、家内召連寵出候、野口氏家内も被召候由^ニ而同道也

五拾枚遣申候
一、奥方様^(和紙の種類)江津並武束献上、沢井江煙草丸、龟屋江大半切

一、下男給金之内、又^ミ今日、札百匁丈取替遣申候
一、家内共夜四ツ時過、無滞相済寵帰り候
一、夕刻作廻り^ニ参り候

十月十九日戌 天氣追^ミ曇、夕七ツ時頃^ル雨^ニなる

一、今日、向田鳥居際なわしろ田、半過かり、麦植付致候、尤五郎七相雇申候

一、夜^ニ入、五德本村惣六、中津表江寵越候由^ニ而、六十郎里^ル手帯并^ミかん菓子才来る、別条無之由

十月廿日亥 天氣雨天、昼前^ル追^ミ晴

一、昼前忠實子相見候、追^ミ昼^ニ相成り^付ニ付一盃差出、夕景^ニ砧雅談致候、夕刻野口隱居も被見候

十月廿二日丑 天氣吉

一、今日佐一郎^(虫損)町奉行兼帶^ニ被仰付候由^ニ

十月廿四日卯 天氣吉

一、昼後、景平山江猪入註進有之

上御遊獵被遊、御供寵出候、御不獵也

一、今日^ル忠實、杵築江被參候由^{ニ付}宗匠江之手岳三嶋榮子江相頼候、尤三嶋も同道之由^{ニ付}而也

十月廿六日巳 天氣吉、大霜

一、今朝、日田支配役人十人、四日市^ル日向富高江通り候由^ニ而先触來り、佐一郎、朝御鳥屋御供江寵出、留守中^{ニ付}是沾^ニ通取計候様申聞置候、本馬式足、人足式人入用之由、

今日、当所昼夜休之由也

十月廿七日午 天氣吉

一、早朝、綾部忠實相見候、尤昨夜杵築^ル被返候由^ニ而、宗匠^ル之返書来る、昨夜之殘酒一盃差出申候、朝飯仕舞被帰候

一、飯後、石ヶ谷山江大猪入註進有之

即刻之御供^ニ而 御遊獵有之、小人共も罷出候、大造司

山^ル金比羅山江移り候處を、下猶方富平出會、初矢打込、

夫^ル金比羅山江掛り居、夕刻馬盜^ニ而後藤茂、佐藤準咸留矢

ニ而打留申候、隨分大猪^ニ而、先百斤猪也、暮時御帰りニ相

成り申候

十月廿九日申 天氣曇、追^ニ晴

一、今日^ル町万屋娘ゆふ事、手習為致吳候様頼参り、相始候、

肴料持參致候

十月卅日酉 天氣吉

一、今日^ル大根引為致候、三重氏下男馬共相雇ひ為付寄候

一、夕刻、町半左衛門相見候

一、夕刻之時分、野口隱居被見、表^ニ而一盃寄會有之、追刻、廣小路野口氏并都甲市治相見候、右者葎の露の歌詠草持參、

談有之
礼致候處江、石ヶ谷山江猪入註進有之候由^ニ而 御遊獵被遊、小子共も罷出候、大造司山^ニ而四ツ五ツ出候得共、いつ連も出方不宜、中猪老疋下猶方富平打留申候、其外とれ不申候

一、下男家内、今日^ル參り候○今日金山新酒披露、隱宅江も

到来致候

十一月二日亥 天氣吉

一、忌日^ニ付佛參致候

一、御上京近^(由^ニ付)之由^ニ付、烏越綾部氏江餞別として歌老首宛

并五金拾疋、其外漬物船中用相送り候、遐之方より、留別

として歌二首來る○夕刻野口隱居被見候

十一月三日子 天氣吉、昼前少々時雨る

一、町万屋庄吉、先年掘置候アンチモニ、先達而大阪^ル越後

屋権七^ニ申者罷下り、不殘賣拂、五拾両請取候由^ニ而、冥

加金として五両丈獻納致候由^ニ而、御役人共江も五拾疋宛

差出、小子江も壹封到来致候

十一月朔日戌 天氣吉

一、式日^{ニ付} 御隱宅様江參上、夫^ル山田氏三重氏方江一寸廻

一、今朝、忠實相見候、京大坂ニ而之買物書付相頼置候、幸

次子も相見候

十一月四日丑 天氣吉、昨夜も少々時雨る

一、昼時前₆上平山江猪入註進有之 御遊獵被遊候、小子共

も罷出候、大小猪入之由之處、小猪壹疋出候得共御不猶也、

大猪者小子不相分候

十一月五日寅 天氣吉

一、今日も上平山江猪入有之由₂而 御遊獵被遊候、小子共

も罷出候得共出不申、御不猶也

十一月六日卯 天氣今日も折々時雨る

一、今日、忌日ニ付佛參可致之處、寒佐に恐れ、手習子供代

參₂遣候

一、昼前、忠實久武相見候

一、今日、田口紺屋江染物₂遣ス、尤上紺糸掛目百拾匁を染

代三拾六匁₂而染上候、其外染物惣体ニ而四拾九匁丈為染

候、尤右使下男家内遣ス

一、昼前、野口隱居被見、新酒一盃差出候、家内事、野口江

被招、暮時前₆參り候

一、夕刻、紺屋₂罷帰り候_(力)而より蕎麦切為打候

十一月七日辰 天氣吉

一、今日も上平山江猪入註進有之、御遊獵被遊候、櫛屋浦山

山首₂大猪壹疋出候得共、誰も居不合、御不猶也○今日、

都甲重治子家内死去之由₂而、夜分お民悔ニ参り候

十一月八日巳 天氣折々時雨る

一、都甲重治方不幸ニ付、下男加勢ニ遣ス

○今日₆船村祭り之由₂而、同村金石衛門増兵衛并元重長

蔵方₂そば切持參り候

一、今日も荒平浦山江猪入註進有之、出獵被仰付、小人數ニ

而罷越候得共、行方不相分、野方₂而小猪壹疋出候趣ニ候

得共、夫も行方不相分、不猶也

十一月九日午 天氣風立折々時雨る

一、今日ハ、是性院福安院両祖之忌日、尤福安院精月₂有之、

肴米茶代為持、佛參致候

○今日者向野日野地村祭り有之由₂而、兼太郎方₂そばも

ち才持參り候

一、今朝、下男櫛屋奥隱山江山とり參り候處、畑ノくろニ猪

伏居、起出、櫛屋浦山之方江參り候趣、罷帰り申出候間、

御猶方江其段申達候處、則狩被仰付候處、御上京前₂而至

而少人數、隱居計、其外一両人參り跡見候處、城山續杉山
ニ入有之、犬入候處、早速山首ニ起出、明き垣の上ニ出、
三疋共矢ニ會不申不猶也、甚殘念之事共也

一、今夕、三崎氏江家内不残被招参り候、同人も御上京之御
供ニ而發足致候ニ付、相招候也、尤御趣意も有之ニ付、同方
稻荷祭り有之、右ニ託し相招候趣也

十一月十日未 天氣吉

一、弥明日、御上京御乗船被遊候段、被仰出候ニ付、御供之
御役人中江暇乞ニ参り候、其外、近所江も参り候

一、夕方三重氏江被招候ニ付、慶酒老樽遣候、都甲氏并松尾
幸次江送別之歌一枚宛遣ス、家内も壱枚宛遣ス、外ニ家
内ニ讀物遣ス

一、七ツ時過、三重氏案内有之、罷越候、夜分遅く罷帰り
候

一、明日出立之向、いつ連も暇乞ニ相見候
十一月十一日申 天氣今晩少々宛時雨る、

○夜分金山市之丞来る

一、吉辰ニ付、五ツ半時御供揃ニ而 首御機嫌よく被遊御發
駕候、尤御刻限少々延引、九ツ時之御初駕也

一、佐一郎義 御母堂様御見送御使者被仰付、御口屋御立場
迄罷出候由也

一、御発駕恐悦 奥方様江者御掛り山田氏江申達候、御隠宅
様江 (虫損)□□致候

一、此度、綾部忠實御供致候ニ付、大阪ニ而心の種ニ冊、京
都ニ而筆墨并神代系図ニツ、其外家内針才相頼候ニ付、金
三分丈預ケ置候

一、今日、高田迄御供ニ罷被出候者、夜四ツ時過罷帰り候由
也

十一月十二日酉 天氣吉

一、今日ニ三嶋宮祭礼ニ而、杖ヶ迫持王もちら來る、尤持
王ハ例年之通、酒添来る

十一月十三日戌 天氣晩方折々時雨る

一、今日、兼而催有之出獵致候處、上平ニも跡有之、丸尾向
山犬入候得共、出不申、其内、向野之先共、景平袖ヶ尾ニ
入有之候段申参り、折々者時雨ながらニ参り、犬入候得
共出不申、暮ニ及、不猶候ニ而罷帰り

十一月十四日亥 天氣昨夜雨布る

一、下村大庄屋方、一昨日祭り之由ニ而参り吳候様案内

有之、昨日も今朝も案内参り候由也

一、昼後ハ楠原隱居桐田好三同道、六十郎潤吉郎召連、下村江参り候、手前家内も桐田家内同道ニ而参り候、至極馳走有之深更る

十一月十五日子 天氣昼前ハ折々時雨る、夜分大布り

一、今早朝下村出立、金山市之丞方江同断ニ付、参り吳候様申参り候、夕刻、七ツ時前いつ連も同道ニ而寵帰り外、途中又々布り出、山志手店ニ而傘壺本かり、町沾相用、下村使帰り候ニ付相頼為返候

十一月十七日寅 天氣昨夜大ニ寒し、夜半後ハ雪布る、少々

つもる

一、昼前、日野地林平相見、去ル三日御遊獵之節、石ヶ谷ニ

而大猪手追之處、其節夕景ニ及、相分り不申、其儘御帰り相成り候處、過日八丸村之者□□与か申者、木こりニ参

十一月十八日卯 天氣大ニ寒し

一、今日、五六輩ニ而相催候、上平ハ景平方江出獵致候得共、出不申不猶也○下男家内昼後ハ来る

十一月廿日巳 天氣吉

一、今日猪狩(虫損)相催し、吉井野口後藤隱居、佐藤準三油屋万歳同道ニ而、景平ハ向野の方江参り、日野地村林平方沾参り候得共跡無之、出掛け、後藤隱居大月上神田ニ跡有之、林平召連、極ヶ迫狩候處、大小三疋出、小猪老疋小子矢先ニ

而打留申し候、僅拾六斤社有之、荒會相催申候

一、今晚ハ桐田松月院三回忌相当ニ而参り候筈之處、右之二第二而参り不申、お民并六十郎遣置候

十一月廿一日午 天氣寒し

一、今朝、桐田方江いつ連も参り候、夫より致佛參候

一、杉原源兵衛殿方江、先日、日出井上ハ養子被致候ニ付、右悦参り候、其砌、都甲方江悔ニ立寄り候、其外内田工藤江不沙汰見舞立寄り候

十一月廿二日未 天氣吉 ○下男家内、今日昼後ハ寵帰り候由也

一、今朝者、兼而約し有之御許山猪狩相催、早朝ハ寵越候處、昨日内ミ而山浦組(虫損)□□日野上森木ニ而大猪ニ致矢入、御許

山江跡つなき参り候由ニ付、其跡相尋年参り候處、御神山ニつなき入、夫ガ段々せんざく致候得共追付不申、鳴川ハ遠く畠才狩り候得共、外猪も出不申、追々夕景ニ及、正覚

寺村^六芋ノ平^七日野地^八辻越參り候處、明日一日御許山狩可致談しニ相成り、日野地十郎方江、後藤隱居、佐藤準三

与三人泊り、明早朝^六登山之約致申、今日之人数、吉井隱居野口隱居桐田好三油屋万三^二銘^一都合七人也、外者ちり

く^二而寵^一帰り候

十一月廿三日申 天氣吉 ○今日^六寒入

一、明六ツ時^六致登山候、追々吉井隱居桐田好三參り候、早速精香谷^六追かけ候得共、更ニ居不申、夫^六戸下才狩候得共居不申、今日無沙汰^二相暮候、暮時過寵^一帰り候

一、今日、留守中^二宇佐石坂勒負相見候由、土産煙草一丸持

参之由、又々明日相見候趣也

一、杵築^六高見子相見候由、宗匠^六暑中来ル、疾^六宇佐方江被參候筈之處、少々故障出来、寸暇なく被參不申由、兼而相頼置候神葬祭文ハ右之中^六被勘、送り被吳候、其外之義者高見^六承知致吳候様申参り居り候得共、面會不致相分り不申、小子留守^二付、高見子も宇佐方江被參候由也

一、高見子^二兼而相頼置候筆墨、今日持參致吳候、尤菱吉墨二丁、筆九本有之候

十一月廿五日戌 天氣吉

一、今日寒入三日目^二付 御隱宅様江御機嫌伺參上、夫^六御役人中并^ニ近所見舞申候

一、夕刻、忠七幸右衛門召呼、先日の猪頭有之、致振舞候十一月廿六日亥 天氣吉

一、今日、景平^六石ヶ谷、夫^六薰石上辻狩致候得共、出不申候、尤合屋合山江子引入有之由、遐之邊、在筒之者共打寄

り居候得共抜有之追當不申、追々夕景^ニ相成り寵^一帰り候

一、先日、杵築^六參居候短冊 御奥江五十葉、此方江九十葉、残る百三十葉今日橋津方江手番相添、潤吉郎江為持遣置候

十一月廿七日子 天氣吉

一、昨夜下男家内參り候、今朝紺屋江遣ス

一、昨日、薰石^ニ而兔一疋得物有之、好^三相見寄會致候一、佐一郎、昼後子供召連下邊^ニ参り、兔壹疋為持^一帰り候、夜^ニ入、野口隱居被見候

十一月廿八日丑 天氣曇天、夕刻^六雨布る

一、昨夜^六少々風邪^ニ付、今朝春塘老江相頼致薬用候、尤吼敵敷被漏、甚氣遣敷候^ニ付、今日煎藥五貼もらひ申候一、今日、部屋丈之煤取致候、尤手習子供加勢致吳候

十一月廿九日寅 天氣昨夜より雨布る

一、今朝ハ風邪大分快、昼前春塘老見舞吳、昨日通、煎藥昨

日通五貼もらひ申候

一、昼前^ル楠本寛兵衛、昨日も今日も相見候、昼飯為出候

十一月廿日 卯天氣吉

一、夕刻、春塘老參り吳候、今日者余ほどよろしく、煎藥三帖もらい申候

一、追刻、山邦^ル高見子被帰候、山邦^ル先般之景物扇子送り来る

十二月朔日辰 天氣曇、暮時頃^ル雨布る

一、昼後、高見子被帰候、宗匠江返書被致候、梶江氏^江返書并^ニ短冊三百廿葉代、杵礼式百六十五匁六分、但し八匁三分替、当札^ニ直し、武百三十五匁六分候處、金武兩壱朱ト

札三匁八分替申候

一、今早朝、油屋万蔵相見、猪狩之咄有之、小子風邪^ニ候處、自分方江用意有之趣^ニ而人參并サイカク才送り吳候、早速相用申候

一、今日、式日^ニ候得共、少々風邪^ニ付礼^ニ出不申候
十二月二日巳 天氣曇天、朝之内少し雨布る

一、明三日、智本妙恵信女百回忌正当^ニ付長流寺^ニ参詣、明朝之回向相頬置候、右^ニ付回向料拾匁、野菜料武匁、斎米壹升持參致候

十二月三日午 天氣吉

一、智本妙恵信女百回忌正当靈供相備、家内^ニ而祭りス

一、景平山^ニ猪入註進有之、罷越候處、石ヶ谷江抜入、追々跡見為致、犬引候處、三田山^ル出候得共矢^ニ合不申、不猶也十二月四日未 天氣吉

一、朝飯後、岩垣勒負、加米某相見候、佐一郎^ル御勝手方江申達候、昼時頃町万屋^ニ而引合候由^ニ而、九ツ時町宿江被參

候、夫辻ハ歌詠草持參、添削才致申候

一、先達^ニ而相挑置候櫨実内金請取置、今日西屋敷村德本屋并松尾村寿平參り、上端銀請取申候^(カ・虫損)尤當年之勘定、壱斤^ニ付壱匁四分替也、請取相済候

十二月六日酉 天氣照曇

一、今朝天氣惡敷相見候^ニ付、長流寺江下男代參為致候(記載ナシ)

十二月七日戌 天氣

一、早朝、舟村惣平參り、昨日薰石村勝平、奥畠山跡見致候處、武足跡有之趣、申出候

一、朝飯後、油屋万三同道二而奥畠方江参り候、追々野口隱居後藤隱居参り候、勝平惣平行方不相分付二付、矢張昼過

迄も見合居、夫ら四人二而跡見出、奥畠中山狩候處、三疋出候得共無人二而、明垣のミニ出、不猶也、暮過罷帰り候

一、留守中、寛兵衛相見、明日、日田之方江罷越候二付、日田三松省三先達而立身致候二付、右祝之歌認候様、兼而頼有之、今晚認置候ハレ、明朝人遣候段申置候由二付、夜分相認申候

十二月八日亥 天氣吉

一、今早朝、楠本寛兵衛相見候二付、三松江之祝歌一葉差遣候、朝飯振舞申候

十二月九日子 天氣吉

一、昨夜下男常蔵江給金渡、不足も有之、札三百匁丈相渡、

五徳寺江為持遣ス、い才者先レ記可申候

一、今日佛參可致之處、客來二付、代參相立候

十二月十日丑 天氣大霜、夜二入少々宛雨布る

一、夜二入、町油屋万三参り、今夕杵築六市安居子相見、

此度者猪狩可致之由、右二付、明日奥畠之方江可参申参り候得共、宗匠被參候等二付、乍殘念斷申置候

十二月十一日寅 天氣今朝迄少々雨布り、曇天也

一、今日之天氣合二而猪狩も出来不申事故、十市事被參候様申遣候、朝飯後ら被參、雅談致候、昼後ら佐一郎同道二而

兎狩江被參候、尤杉原氏も被參候、暮前被帰候、不猶之由也、夕支度用意致置候處、今晚ハ杉原氏江被招候由也

一、昨夕、下男家内蕎麦粉少々持參致候二付付今夕為打申候

十二月十二日卯 天氣吉、夜分少々雨布る

一、今日者十市氏、油屋万藏同道二而、奥畠之方江狩二被參

候由也

一、昼過、宇佐ら宗匠被帰候、早速より雅事二相及、承り候、十市氏江も被帰候ハレ被參候様、申遣置候

一、十市氏も罷帰られ不申趣、相見不申候

十二月十三日辰 天氣曇、夕刻ら折々雨布る

一、今朝飯後、宗匠義者時節柄ニも有之、且ハ日和相知れな

申故、差急、被引取候

一、歳暮為祝儀、金武百疋致進入候

一、今朝、例年之通、野地村ら門松〔扶力〕持參り候、例之通、支

候得共、宗匠被參候等二付、乍殘念斷申置候

一、今日ハ例之通、煤拂致候

一、宇佐_ル岩坂韌負、兼而之一条且ハ歌咄_ニ相見候

一、夜分町油屋万二郎参り、十市氏_ル言傳有之、今晚被罷帰候由、昨日者武足出候得共矢_ニ合不申、今日ハ出不申由_ニ而、不猶之由也

十二月十四日巳 天気吉

一、(前略)山中_ル猪入註進有之、罷越候、山中向山_ニ入有之、大町_ニ出、後藤隱居打損候、小子も上ノ町_ル乍遠、打掛け申候得共、当り不申候、不猶也

十二月十五日午 天氣昼前迄折々雪布り、追々晴る、夕刻又雪布る

一、先日、中須賀頼母子有之、壱本拾七両武分宛_ニ而武本共切落し、三拾五両之處、其頃町半左衛門方江預ヶ置、其内拾五両昨日請取、又其内拾武両、野地村順平_ル兼而頼有之、尤当冬、同人方居屋普請致入用之由_ニ而、初秋_ル源之丞を以頼有之候_ニ付、此度取替遣候、尤田地永代證文壱本預り置、請人庄屋幸之丞并甲斐源之丞兩人_ニ而、来暮迄取替置候、右三付町半左衛門方江右之武拾両金預ヶ置候、尤利付也、外_ニ當夏御手当米武石相拂候節、五両預ヶ有之、都合廿五両也

一、下男常藏給金、年七両武分ト相定、武分ハ着古し_ニ而も

有之候節ハ遣候筈_ニ而、当年も遣有之、正金七両相渡可申之處、是迄追々取替有之、残り分相渡之所江四百丣相渡、尤内五拾丣ハ家内つる江心遣し、三百五拾丣_ニ而差引致、金九拾七丣四分、來已年給金之内取替_ニなる、外_ニ年貢五斗九升五合武勺、來年分之内取替遣ス、右之相場ハ未不定、來春當方町半左衛門方_ニ而勘定之節、相定遣之筈也

一、昼前、亀井隱居相見候、手酒一盃振舞申候

一、夕刻、井尻久武相見候、先日之短冊代取集被呉候

一、下男給金之内、先日三百丣、昨夜百丣相渡候處、下男家内今朝持帰り候

一、先日_ル少々風邪之處、不相替吼痛候_ニ付油屋万藏方江サヒ角井人參少々宛もらひ遣候、振出_ニ入、相用候

十二月十六日未 天氣朝之内曇 追々晴、夜_ニ入少々雨布る
一、今日、裏門多平与下男_ニ付、年際酒掃致候、昼時一盃為呑候、後藤隱居も相見候

一、今朝 御母堂様_ル佐一郎被為召、其序_ニ小子江御菓子一箱頂戴被仰付候、早速御礼參上可仕之處、風邪_ニ而取亂罷在候_ニ付、御礼佐一郎_ル申上置候様、申聞置候

一、夕刻、春塘老江煎薬五帖もらひ申候

十二月十七日申 天氣小雨布る

一、今日昼後、春塘老見舞吳候、今日煎薬五帖もらひ申候

一、昼前、野口隱居被見候、昼後、町庄吉参り候

一、夕刻、油屋万藏見舞吳候○今日昼後ら下男常藏暇もらひ

罷帰り候

十二月十八日酉 天氣曇

一、今朝、下男罷帰り候

十二月十九日戌 天氣吉 (底) 深更より少すこ雨布る

一、住居上下之窓庇損ぬけし、大工逸八江申付杉皮ひ而結為致候

十二月廿日亥 天氣雨布る

一、昼前、後藤隱居被見候

一、夕刻、町油屋万三ちよ猪肉少すこ致到来候、昨日、田染日向

平ひら二而同人打留候よし、併シ小猪之趣也

一、下男家内、昨暮參り、今朝又ミ罷帰り、暮時前参り候

一、今晚、節分豆撒まき才下男ひ為致候

十二月廿三日寅 天氣曇天、朝之内少すこそは布る、夕刻も同

断

一、飯後、後藤氏野口氏江一寸参り候、追刻野口氏被見候、
昏時濁酒一盃差出候

一、夕刻 御隱宅様江御機嫌伺、恐悦旁參上致候
十二月廿五日辰 天氣朝之内曇、追よ晴、夜分又ミ大ニ雨布
る

一、今日、田染江歲暮として下男差遣候、為祝儀、看料拾あつ々、
(紙の種類)津並つな壱束いづつ、志やたら三ツ遣申候、夕刻、罷帰り候、先方別
条無之、酒壺樽（ママ）并黒沙糖少すこ來る

十二月二十七日午 天氣寒

一、御役所も今日相仕舞候趣、且御用多二而今日者終日切詰
也、退出掛

清雲院様江御機嫌伺參上致候○本日夕方、塩屋半左衛門方
例年歲暮來る

一、下村新藏しんざう歲暮來る、夫ヒ江來る

十二月廿九日申 天氣吉

一、町油屋ちよ正ゆ武升宛、本宅隱宅江來る、塩屋又市方かた酒
壺樽、白鮎七尾宛、本隱共二來る、三草屋酒壺升預かり來

一、糸永傳八ぢよ為歲暮、蠟燭壺斤來る、児玉格平歲暮持來る

一、糸永傳八ぢよ為歲暮、蠟燭壺斤來る、児玉格平歲暮持來る

一、夕七ツ時ひいつ連も出仕、志者らく談合有之、夫お一同、同道どうどう二而両

御奥江歲暮御礼參上、夫お例之通、御役人留守宅計江參り候、夫お相別れ、例之通り内祝致申候

一、町万屋まちまんや為歲暮、鏡一居、数の子、酒壺升、堅炭壺俵來る

一、三嶋みしま年玉一居歲暮一封来る

一、内田鋼二郎うちだこうじろう年玉一居、小鱗少々来る

一、六十郎ろくじゅうろう三嶋方江為歲暮札五匁遣候

一、田原春塘老方江表たはらしゅうとうろう薬礼やくれい、金三百疋遣申候

一、元重長歲もとしげなが午勞三束、そ者切きり老重、舟金右衛門ふねかなうゑもん為歲暮、酒壺升來る、其外別條無之、深更ふかよ二そ者才着さいせき二而一盃酌交、致休息候